

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 132

事務事業名	原爆被爆者援護対策事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	福祉総務課		
課長名	森 克彦	内線	460
担当者名	田中 慎也	内線	157

基本目標	-
政策	999999 -
施策	その他
関連施策	

会計	一般会計	
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	1	社会福祉総務費
事業コード	020000	原爆被爆者援護対策事業

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	原爆被爆者、被爆体験者、被爆者2世		
意図 対象をどのような状態にしたいか	原子爆弾被爆者の健康の保持及び福祉の向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	原爆被爆者等からの原爆援護関係申請受付及び制度説明を行う。		
事業期間	昭和 32 年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	原爆被爆者に対する援護に関する法律		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 原爆関係申請受付件数	計画値	427	369	379	368	
		実績値	369	379	368		
	達成度	%	86.4%	102.7%	97.1%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 原爆関係申請書回収率	計画値	100	100	100	100	
		実績値	100.0	100.0	100.0		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	②	計画値					
実績値							
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	94	114	116	119	120	120	120	0
国庫支出金								
県支出金	94	114	116	116	116	116	116	
地方債								
その他								
一般財源				3	4	4	4	
② 人件費(千円)	2,623	2,116	3,738	3,491	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.33	0.28	0.53	0.48				
時間外勤務(時間)	0	0	0	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,717	2,230	3,854	3,610				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	進達業務は円滑にできており、引き続き的確な事務処理に努める。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
基本は全額県事務委託交付金事業であるが、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典市長出席に関する旅費のみが市単独分である。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	法定事務であるため現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	所要の法定事務を遂行できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。